

市の考えを問う 一般質問

3月18日・19日・20日の3日間行われた一般質問の主な質問（Q）と答弁（A）の概要を掲載します。



圏央鶴ヶ島インターチェンジ

Q 不要不急の(南西部の)大型開発は中止を

松村 和子 議員



A 県と連携し進めていく

質問一 運動公園第二期事業の内容は。

二 税収と雇用を重視した農業大
学校跡地への工場誘致の実態は。

三 残りの都市計画道路の予算は。

四 後世につけを残す不要不急の
大型開発は中止すべきでは。

答弁一(市長) 人々が集い、憩い、交流する魅力ある拠点づくりを目指す。整備に当たっては、団体からの要望を含めて検討を進めている。

二 地域に雇用を生み、産業振興につながる製造業を中心とした次世代産業の集積を県に要望してきた。県と連携を密に取り組む。優良企業が進出することで、税収にも寄与すると考えている。

三 農業大学校跡地の活用や運動公園のために必要な都市計画道路は、平成27年度予算で、用地取得に向けた経費を計上している。



つるゴン

四 県と連携して農業大学校跡地の活用を進め、産業振興や雇用創出を図る。整備された居住空間を生かし、職住接近のまちづくりを進め、活力に満ちたまちを創造したい。

◎その他の質問

一 要介護者に対する障がい者控除認定書の発行の拡大を

二 道徳の教科化で教育は戦争する国に向かう

質問一 地域PRの考え方は。

二 6次産業化による地域ブランドについて。

三 地域版総合戦略は。

四 地域力向上への取り組みは。

答弁一(市長) 市のイメージキャラクター「つるゴン」を活用し、各種団体と連携を取りながら、知名度向上の取り組みを進めていく。

二 現在、サフランの特産化を進めている。また、国の交付金を活用し、地域資源を生かして特産品づくりにチャレンジする市内業者を資金面で支援する。

三 地方版総合戦略は、地方人口ビジョンを踏まえ、今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的施策をまとめるものである。市のリーディングプロジェクトと方向性は同じであるが、今後は重要業績評価指標などの具体的な目標を定め、取り組んで行く。

四 子どもを産み育てやすい環境の創出や企業誘致による就業の場の確保が重要である。整備された居住空間、身近に残る自然や交通の利便性など、市の特性を生かした取り組みにつなげていく。

◎その他の質問

一 道路舗装修繕事業について

二 市民意識調査から見えてくる行政サービスについて

Q 地方創生・地域力の向上の取り組みを

内野 嘉広 議員



A 市の特性を生かし進めていく